

令和2年度入学式式辞 ～校長たより～

R2. 4. 8

勝間田川の桜も満開となり、皆さんの門出をお祝いしています。本来ならば、来賓、在校生など榛原中学校にかかわるすべての方々揃ってみなさんをお迎えしたかったのですが、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、学校や地域を挙げて盛大に入学式が行えないことを申し訳なく思います。

みなさんはこのような緊急時に小学校を卒業した訳ですが、練習もほとんどできない厳しい環境の中でも、それぞれの小学校で感動的な卒業式を行ってきたと聞いております。ピンチの中でも、しっかりと6年間の学びの成果を卒業式に発揮できる力を兼ね備えたみなさんが入学してくることを心から待ち望んでいました。

只今呼名を受けた189名のみなさん。入学おめでとうございます。今日から榛原中学校の生徒です。

この上にある看板にも入学式の回数を書いてあるのでわかると思いますが、榛原中学校が誕生して今年で50年。みなさんは記念すべき50回目の入学生ということになります。そんなみなさんに、この学校が創立した時に掲げられ、今なお大切にされている『自学・共励・鍛錬』の3つについてお話をします。

最初に「自学＝いわゆる自ら学ぶ」についてです。

学校は何と言っても勉強するところです。授業では自分の意見を持ち、友達の考えも参考に、さらに自分の考えを深めていくことを積み重ねることや、わからないことをとことん追求することで確かな力を育むことができるはずです。ぜひ主体的に学ぶことを通して、みなさんの未来を切り拓いていってください。

次に「共励＝共に励む」についてです。

学校生活は多くの人と関わりながら生活していきます。多くの人がいれば、自分の考えや感じ方と違った捉え方をする人もいるはずです。学校生活の中ではこうした多様な価値観を理解した上で、お互いを認め合い高め合って、共に成長していくことを願っています。中学校生活で得られた仲間は、これからみなさんの一生の宝物になるとははずです。いい友を作ってください。

最後に「鍛錬＝鍛える」についてです。

中学生期は、「体」が大きく成長すると同時に「心」も大人に近づいていきます。私も今まで何人も3年間で素晴らしい成長を遂げた中学生を見てきました。その成長に欠かせない共通項は「鍛える」ことです。授業、部活動、学校行事など学校生活のあらゆる場面で目標を持ち、その目標を達成するためにひたむきにがんばることで、3年後には大きく成長した姿に変身しているはずです。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学誠にありがとうございます。手塩にかけて育てられたお子様が、立派に成長され本日を迎えられたことを、心からお慶び申し上げます。

お子様の健やかな成長のためには、保護者のみなさんと学校が手を携えていくことが必要です。思春期にさしかかる中学生時代は心も体も大きく変わり、家庭でのかかわりも思春期特有で難しい時期を迎えます。小学校時代とは違ったかかわりが求められることも生まれてきます。困ったときにはどんなことでも結構ですのでお気軽にご相談ください。

本校の教育活動に対して御理解と御協力をいただきますと共に、お子様への愛情あるかかわりを引き続きお願い致します。

榛原中学校の教職員一同は、本日お預かりした189名のお子さんを達の健やかな成長のために、こころを込めてかかわらせていただくことをお誓い申し上げます。式辞と致します。